

適性検査Ⅱ

注 意

- 1 問題は **1** から **3** までで、18ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは午前11時00分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用下さい。
- 5 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出下さい。**
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 **受検番号**を解答用紙の決められたらんに入力下さい。

東京都立大泉高等学校附属中学校

問題を解くときに、問題用紙や解答用紙、ティッシュペーパーなどを実際に折ったり切ったりしてはいけません。

1 先生、太郎さん、花子さんが、学校生活最後のお楽しみ会の準備をしています。

先生：お楽しみ会では、クラスのみなさんでできる遊びを行いましょう。遊び方をしおりにまとめて、クラスのみなさんに配ろうと思います。1枚の紙の片面から左とじのしおり（図1）を作しましょう。

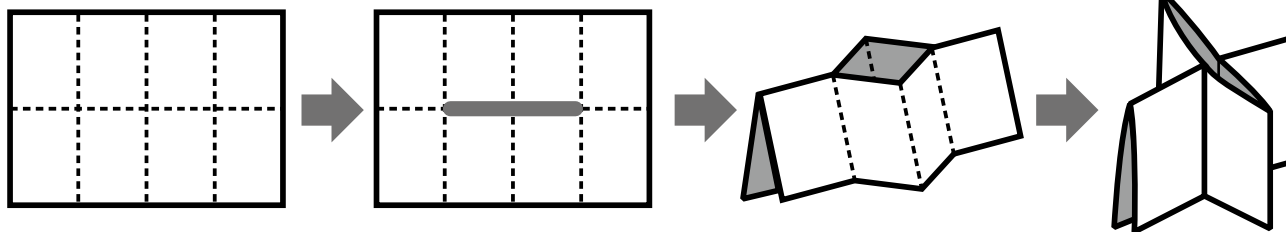
太郎：1枚の紙の片面からしおりを作ることができるのですか。

花子：しおりの作り方（図2）によると、1枚の紙を-----で折り、
—————を切って、折りたたむと、しおりを作ることができるみたいよ。

図1 左とじのしおり



図2 しおりの作り方



先生：お楽しみ会では二つの遊びを行います。しおりができれば、表紙を1ページとして、最初の遊びの説明を2ページから4ページに、次の遊びの説明を5ページから7ページにのせましょう。8ページは裏表紙になります。

太郎：折りたたみ方によって、しおりの表紙がくる位置や5ページがくる位置が変わってくるね。

花子：それに、文字の上下の向きも変わってくるね。しおりにしたときにすべてのページの文字の向きがそろうように書かないといけないね。

先生：そうですね。では、1枚の紙を折りたたみ、しおりにする前の状態（図3）で、しおりの表紙や5ページがどの位置にくるのか、またそれぞれ上下どの向きで文字を書けばよいのかを下書き用の用紙に書いて確かめておきましょう。

〔問題1〕 1枚の紙を折りたたみ、左とじのしおり（図1）を作るとき、しおりの表紙と5ページは、しおりにする前の状態（図3）ではどの位置にくるのでしょうか。また、それぞれ上下どちらの向きで文字を書けばよいですか。

解答用紙の図の中に、表紙の位置には「表」という文字を、5ページの位置には「五」という文字を図4のように文字の上下の向きも考え、書き入れなさい。

図3 しおりにする前の状態

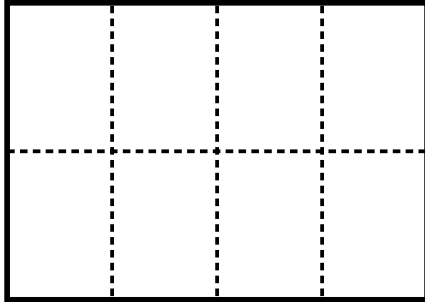
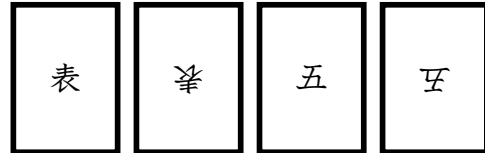


図4 文字の書き方



先生：しおりの2ページから4ページには、「白と黒の2色でぬられた模様^{もよう}を漢字や数字で相手に伝える遊び方」の説明をのせます。

花子：どのような遊びですか。

先生：例えば、伝える人は模様(図5)を漢字で表現(図6)します。答える人は、伝えられた表現から模様を当てるとい遊びです。横の並びを「行」といい、縦の並びを「列」といいます。

図5 白と黒の2色でぬられた模様^{もよう}

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
1	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
2	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
3	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
4	白	黒	黒	黒	黒	黒	黒	白
5	白	黒	黒	黒	黒	黒	黒	白
6	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
7	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
8	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白

図6 漢字で表現した模様

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
1	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
2	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
3	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
4	白	黒	黒	黒	黒	黒	黒	白
5	白	黒	黒	黒	黒	黒	黒	白
6	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
7	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白
8	白	黒	黒	白	白	黒	黒	白

太郎：全部で64個の漢字を使って模様を表現していますね。64個も答える人に伝えるのは大変ではないでしょうか。

先生：そうですね。ではここで、数字も取り入れて、1行ずつ考えていくと(「約束1」)、より少ない漢字と数字の個数で模様を表現することができますよ。

約束1

- ①上から1行ごとに、左から順にますの漢字を見る。
- ②漢字が白から始まるときは「白」、黒から始まるときは「黒」と最初だけ漢字を書く。
- ③白または黒の漢字が続く個数を数字で書く。

花子：図6の模様については、1行めは白から始まるから、最初の漢字は「白」になりますね。左から白が1個、黒が2個、白が2個、黒が2個、白が1個だから、

白12221

という表現になります。漢字と数字を合わせて6個の文字で表現できますね。2行めと3行めも1行めと同じ表現になりますね。

先生：そうですね。4行めと5行めは、白から始まり、白が1個、黒が6個、白が1個ですから、

白161

という表現になります。

太郎：6行めから8行めも1行めと同じ表現になりますね。そうすると、漢字と数字を合わせて44個の文字で図6の模様を表現できました(図7)。
 約束1を使うと図6よりも20個も文字を少なくできましたね。漢字と数字の合計の個数をもっと少なくすることはできないのかな。

図7 約束1を使った表現

```

白12221
白12221
白12221
白161
白161
白12221
白12221
白12221
  
```

先生：別の約束を使うこともできますよ。今度は、1列ずつ考えていきます(約束2)。

約束2

- ①A列から1列ごとに、上から順にますの漢字を見る。
- ②文字が白から始まるときは「白」、黒から始まるときは「黒」と最初だけ漢字を書く。
- ③白または黒の漢字が続く個数を数字で書く。

花子：図6の模様については、図8のように表現できるから、漢字と数字を合わせて20個の文字で模様を表現できました。約束1に比べて約束2を使ったほうが、24個も文字を少なくできましたね。

図8 約束2を使った表現

```

白 黒 黒 白 白 黒 黒 白
8  8  8  3  3  8  8  8
          2  2
          3  3
  
```

伝える人は、約束2を使って答える人に模様を伝えるのがよいと思います。

先生：どのような模様であっても約束2で表現するのがよいのでしょうか。別の模様でも考えてみましょう。

(問題2) 図9はある模様を約束1で表現したものです。この模様を約束2で表現したとき、漢字と数字の合計の個数がいくつになるのかを答えなさい。

また、約束1と約束2のどちらを使ったほうが表現する漢字と数字の合計の個数が少なくできるのか答えなさい。さらに、少なくできる理由を説明しなさい。考えるときに図10を使ってもよい。

図9 約束1を使った表現

```

白8
黒71
黒17
白116
白215
白116
黒17
黒8
  
```

図10

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

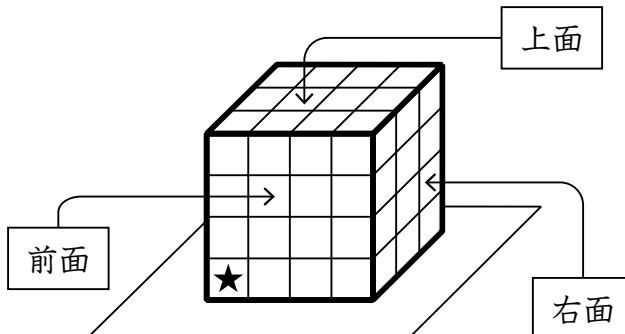
先生：しおりの5ページから7ページには、**図11**のような「磁石じしやくがついているおもちゃ（てんとう虫型）を鉄製の箱の表面で動かす遊び方」の説明をのせます。

図12のように鉄製の箱の表面にはますがかかれています、使う面は前面と上面と右面だけです。

図11



図12



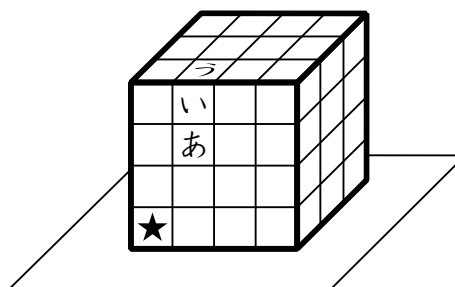
太郎：どのような遊びですか。

先生：表1にあるカードを使って、「★」の位置から目的の位置まで、指定されたカードの枚数でちょうど着くようにおもちゃを動かす遊びです。最初に、おもちゃを置く向きを決めます。次に、おもちゃを動かすカードの並べ方を考えます。同じカードを何枚使ってもかまいませんし、使わないカードがあってもかまいません。では、まずはカードの枚数を気にしないでやってみましょう。例えば、目的の位置を「う」の位置とします（**図13**）。表1をよく読んで、おもちゃの動かし方を考えてみてください。

表1

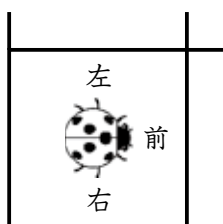
カード番号	カード	おもちゃの動かし方
①		同じ面で1ます前に動かす
②		同じ面で2ます前に動かす
③		そのままで右に90度回転させる
④		そのままで左に90度回転させる
⑤		面を変えながら1ます前に動かす

図13





太郎わたし：私は、最初におもちゃを**図14**のように置いて、このように考えました。

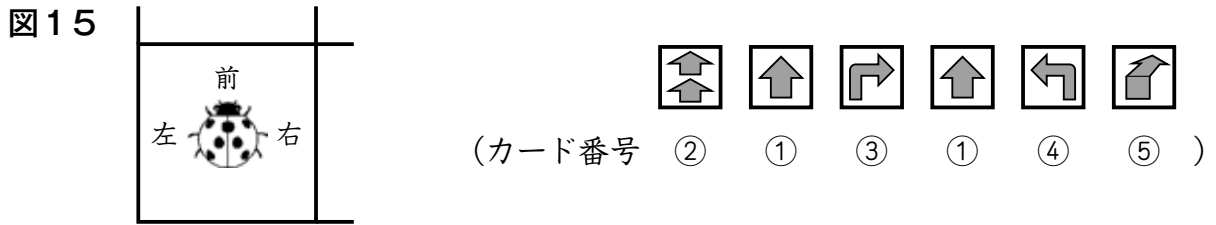
図14





(カード番号 ① ④ ② ① ⑤)

先生：そうですね。「あ」の位置でまず  のカードを使って「い」の位置に動かし、それから  のカードを使って面を変えながら1ます前に動かすことで「う」の位置にたどりつきます。

花子：私は、最初におもちゃを **図15** のように置いて、このように考えました。



先生：そうですね。花子さんの並べ方では、「い」の位置でまず  のカードを使っておもちゃの向きを変え、それから  のカードを使って面を変えながら1ます前に動かすことで「う」の位置にたどりつきます。

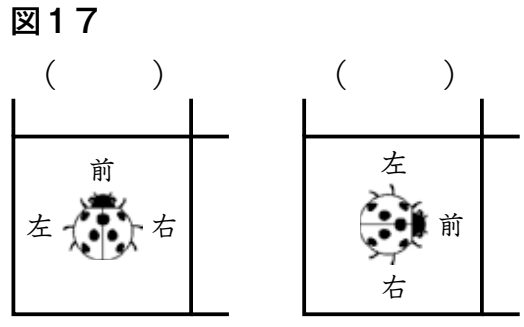
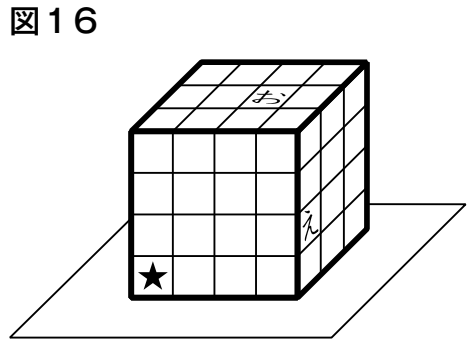
花子：お楽しみ会ではカードの枚数を指定して遊びましょう。

太郎：お楽しみ会の日が待ち遠しいですね。

〔問題3〕 **図16** のように「★」の位置から「え」の位置を必ず通るようにして、「お」の位置までおもちゃを動かします。**表1** のカードを10枚使って、おもちゃを動かすとき、使うカードの種類とカードの並べ方を考えなさい。

最初に、「★」の位置に置くおもちゃの向きを **図17** から選び、解答用紙の()内に○をつけなさい。

次に、おもちゃを動かすカードの並べ方を、**表1** にある①から⑤のカード番号を使って左から順に書きなさい。



2 校外学習で昼食時におとずれた都立公園で花子さんと太郎さんが、外国人旅行者について話をしています。

花子：都立公園には外国人が大勢見学におとずれているね。

太郎：先生も、最近は日本をおとずれる外国人の数が増えていると言っていたよ。

花子：日本をおとずれる外国人の数はいつごろから多くなってきたのかな。

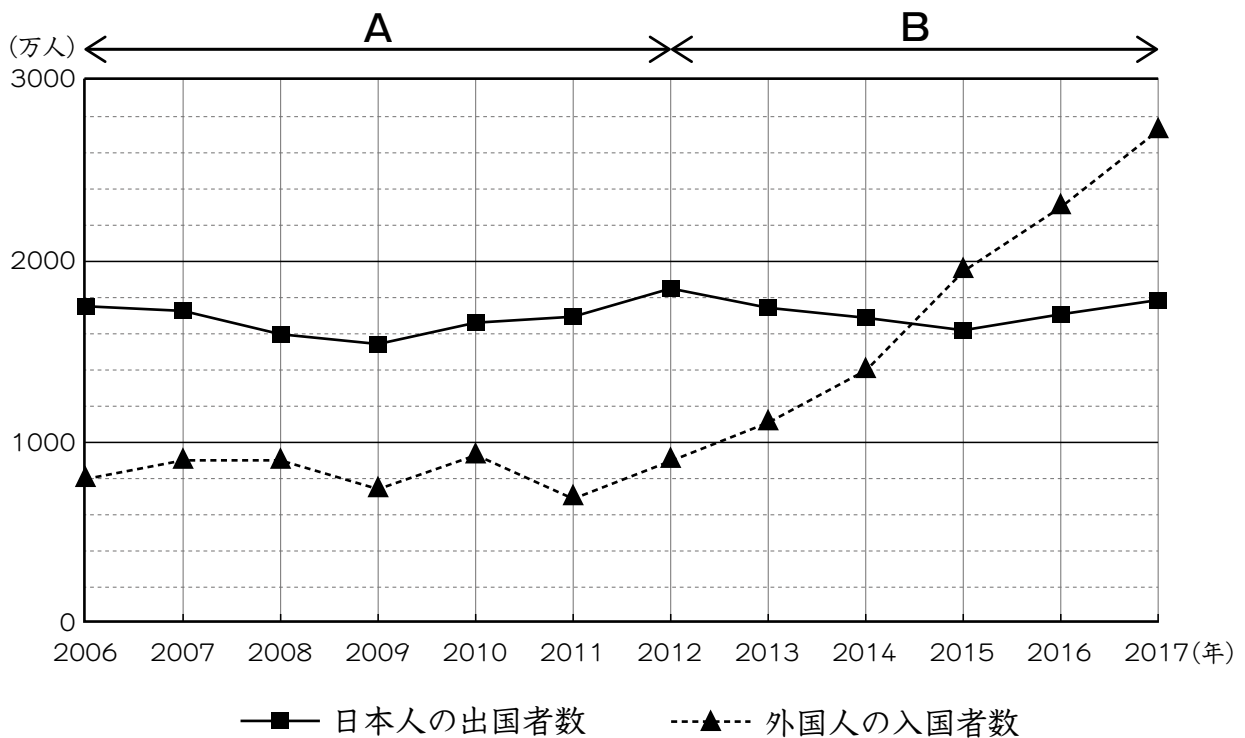
太郎：私たちが生まれたころと比べて、どのくらい増えているのだろうか。

花子：日本をおとずれる外国人の数の変化を調べてみようよ。

太郎：国外に行く日本人もたくさんいるだろうから、日本をおとずれる外国人の数と比べてみるのもおもしろそうだよ。校外学習から帰ったら、調べてみよう。

花子さんと太郎さんは、校外学習の後、図書館に行き、次の資料(図1)を見つけました。

図1 日本人の出国者数と、日本への外国人の入国者数の移り変わり



(法務省の資料より作成)

花子：2006(平成18)年から2012(平成24)年までの間(図1のAの期間)では、
 (あ) 。2012(平成24)年は日本人の出国者数は、外国人の入国者数の
 (い) 倍であることが分かるね。

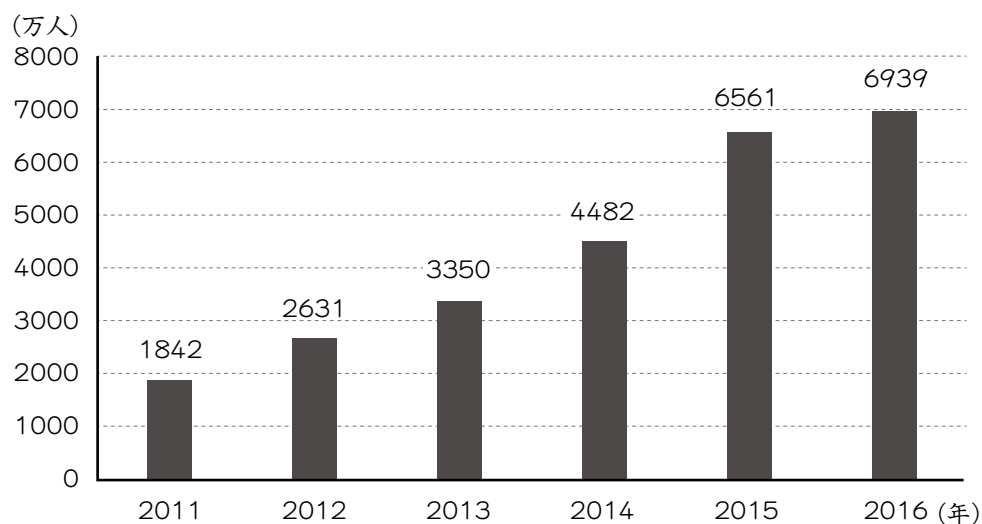
太郎：2012(平成24)年から2017(平成29)年までの間(図1のBの期間)では、
 (う) 。外国人の入国者数は、2017(平成29)年には2012(平成24)年
 と比べて約 (え) 倍になっていることが分かるね。

〔問題1〕 花子さんと太郎さんは、**図1**をもとに日本人の出国者数と、日本への外国人の入国者数を比べて、それぞれの変化のようすについて話し合っています。二人の会話中の **〔あ〕** から **〔え〕** の空らんのうち **〔あ〕** と **〔う〕** には当てはまる文を、**〔い〕** と **〔え〕** には当てはまる整数を答えなさい。

花子：観光を目的として日本をおとずれる外国人旅行者について、調べてみようよ。

太郎：日本をおとずれる外国人旅行者について、こんな資料 (**図2**) があったよ。この資料の「延べ宿はく者数」は、例えば一人が2はくした場合を2として数えているよ。

図2 外国人旅行者の延べ宿はく者数の移り変わり



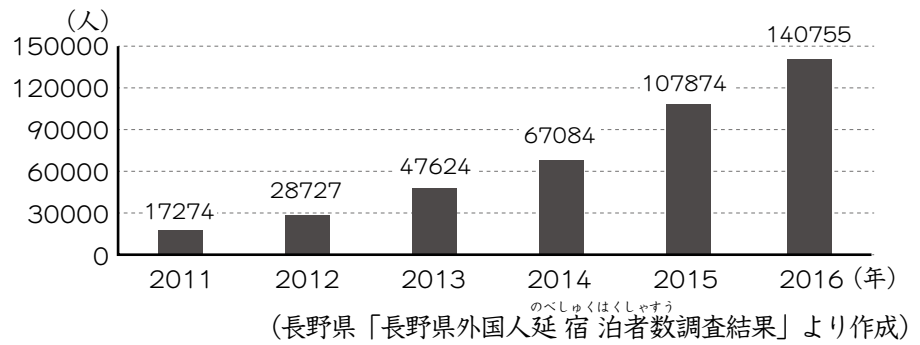
(観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成)

太郎：外国人旅行者の延べ宿はく者数が2011 (平成23) 年には約1842万人だったのに対し、2016 (平成28) 年には約6939万人になっていて、約4倍に増えていることが分かるね。

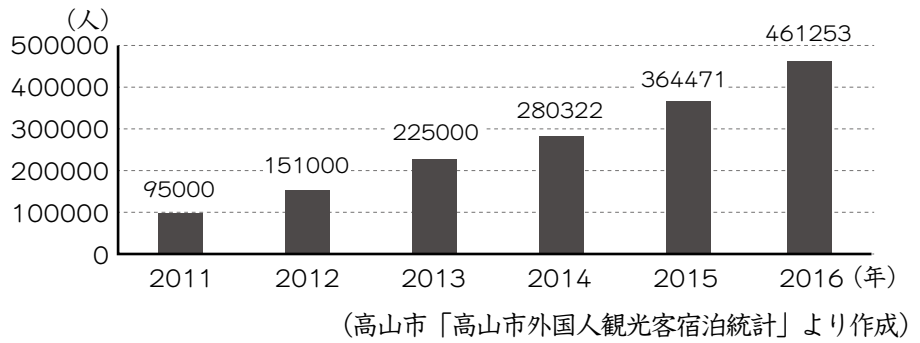
花子：日本のどのような地域で外国人旅行者の延べ宿はく者数が増えているのかな。

太郎：こんな資料 (**図3**) があったよ。これは、長野県松本市、岐阜県高山市、和歌山県西牟婁郡白浜町という三つの地域における外国人旅行者の延べ宿はく者数の移り変わりを示しているよ。

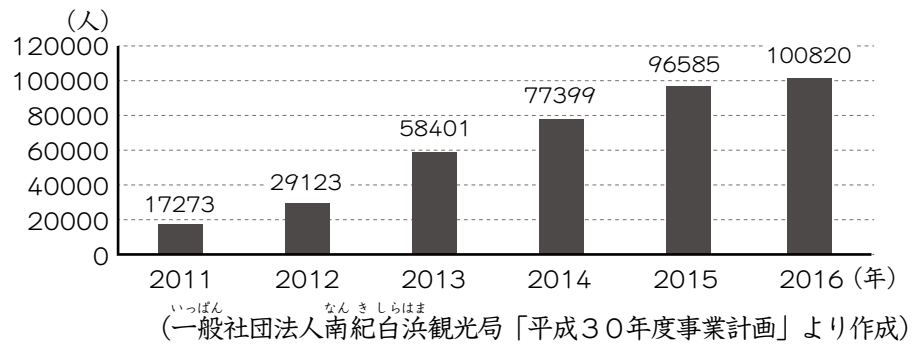
図3 三つの地域の外国人旅行者の延べ宿泊者数の移り変わり
ながの けんまつもとし
 長野県松本市



ぎふ けんたかやまし
 岐阜県高山市



わかやま けんにしむろ ぐんしらほまちょう
 和歌山県西牟婁郡白浜町



花子：この三つの地域は、外国人旅行者の延べ宿泊者数がここ数年で大はばに増えた地域だね。地図上の位置や、どのような地域かなどをもう少し調べてみようよ。(図4、表1、表2)

図4



表1 花子さんが調べた三つの地域の
主な観光資源

松本市	松本城、スキー場、 古い街なみ、温泉、 そば打ち体験
高山市	合しよう造りの民家、 豊かな自然、鍾乳洞、 古い街なみ、温泉
白浜町	砂浜、温泉、 美しい景観、パンダ

(各市町ホームページなどより作成)

表2 太郎さんが調べた三つの地域が行っている外国
人旅行者のための取り組み

松本市	<ul style="list-style-type: none"> 中部国際空港との連携（鉄道やバスへのスムーズな乗りつぎなど） 観光情報サイトのじゅう実 多言語表記などのかん境整備 観光産業をになう人材の確保と育成
高山市	<ul style="list-style-type: none"> 海外への職員派けん 多言語パンフレットの作成 伝統文化とふれ合う場の提供 通訳案内士の養成
白浜町	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内看板の多言語化 観光情報サイトのじゅう実 外国人向けの観光案内の動画作成 多言語によるアンケート調査

(各市町ホームページなどより作成)

太郎：三つの地域にはいろいろな観光資源があることが分かるね。

花子：この三つの地域は、観光資源があることの他に、外国人旅行者におとずれてもらうために、さまざまな取り組みをしているね。

太郎：外国人旅行者が旅行中に困ったことを調査した結果（表3）を見つけたけれど、このような資料を活用しながら、それぞれの取り組みを進めているのかな。

表3 日本をおとずれた外国人旅行者が旅行中に困ったこと

○情報通信かん境が十分でない。
○クレジットカード支払いが利用できない場所がある。
○多言語対応が不十分である。
・し設等のスタッフとコミュニケーションがとれない。（英語が通じないなど）
・表示が少ない。分かりにくい。（観光案内板など）
・多言語の地図やパンフレットの入手場所が少ない。
・公共交通の利用方法が分からない。（乗りかえ方法など）
・外国の通貨を円に両がえできる場所が分からない。

(観光庁「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート結果」平成29年より作成)

〔問題2〕 松本市、高山市、白浜町の三つの地域から一つを選び、その地域で外国人旅行者の延べ宿泊者数がここ数年で大はばに増えているのは、観光資源があることの他にどのような理由が考えられるか、表2と表3をふまえてあなたの考えを書きなさい。

花子：外国人旅行者のためのパンフレットやガイドブックには、具体的にどのような工夫がされているのかな。

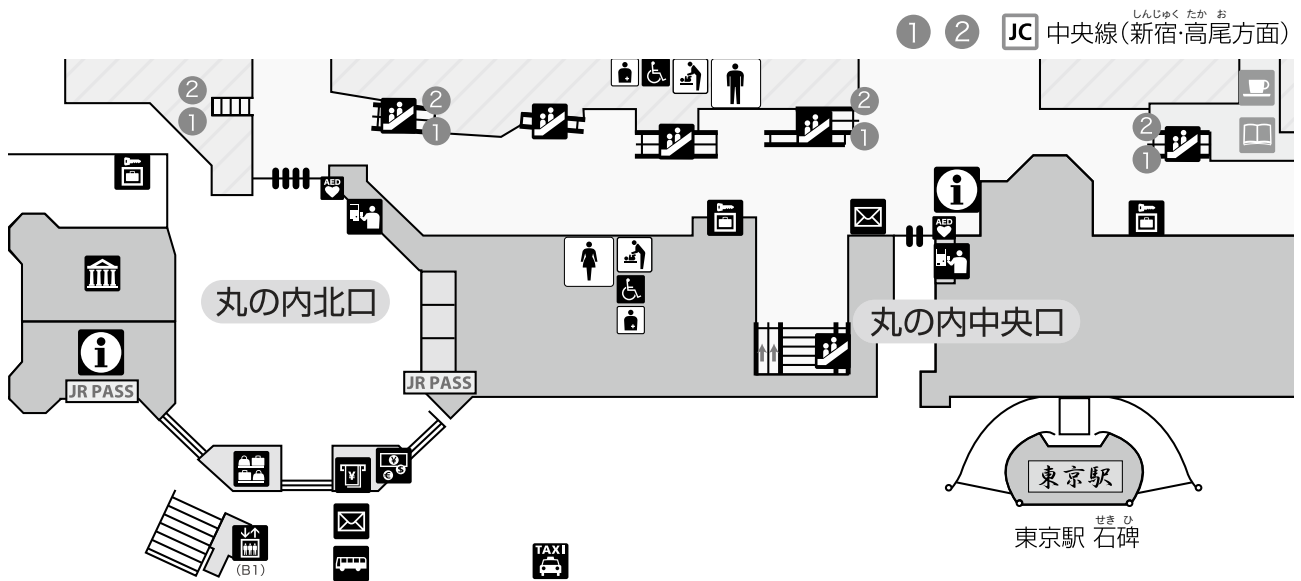
太郎：東京駅では日本語と日本語以外の言語で書かれている駅構内・周辺案内図があって、もらってきたので日本語の案内図と比べてみようよ。

花子：案内図（図5、図6）には、いろいろなマークがたくさんかいてあるね。

太郎：このマークは案内用図記号というそうだよ。

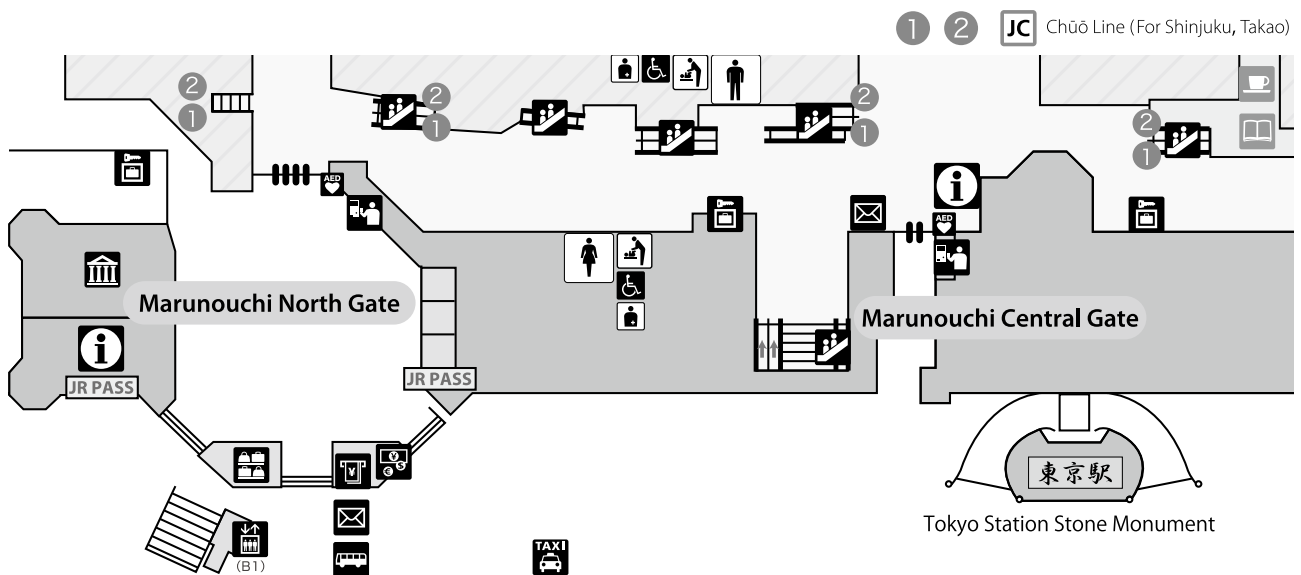
花子：この案内図の中の「インフォメーションセンター（案内所）」、「エレベーター」、「郵便ポスト」、「バスのりば」を表すマーク（図7）は、今までに見かけたことがあるよ。

図5 日本語の東京駅構内・周辺案内図の一部



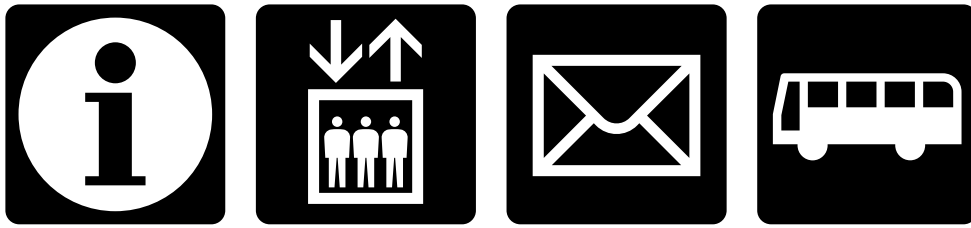
(東京ステーションシティ運営協議会「東京駅構内・周辺案内マップ」より作成)

図6 英語の東京駅構内・周辺案内図の一部



(東京ステーションシティ運営協議会「東京駅構内・周辺案内マップ」より作成)

図7 花子さんが今までに見かけたことがあるマーク



太 郎：このようなマークは外国人旅行者もふくめて、子供から高れい者まで、さまざまな人に役立っているようだね。

〔問題3〕 太郎さんは「さまざまな人に役立っているようだね。」と言っていますが、案内用図記号にはどのような役割があるか、あなたの考えを二つ説明しなさい。答えは、解答さんの役割1、役割2に分けて書きなさい。

このページには問題は印刷されていません。

3 太郎さん、花子さん、先生が先日の校外学習について話をしています。

太郎：校外学習の紙すき体験で、和紙は水をよく吸うと教えてもらったね。

花子：和紙と比べて、プリント用の紙、新聞紙、工作用紙などのふだん使っている紙は、水の吸いやすさにちがいがありそうだね。和紙と比べてみよう。

二人は先生のアドバイスを受けながら、和紙、プリント用の紙、新聞紙、工作用紙について、実験1をしました。

実験1 水の吸いやすさを調べる実験

- 1 実験で使う紙の面積と重さをはかる。
- 2 容器に水を入れ、水の入った容器全体の重さを電子てんびんではかる。
- 3 この容器の中の水に紙を1分間ひたす。
- 4 紙をピンセットで容器の上に持ち上げ、30秒間水を落とした後に取り除く。
- 5 残った水の入った容器全体の重さを電子てんびんではかる。
- 6 2の重さと5の重さの差を求め、容器から減った水の重さを求める。

太郎：実験1の結果を表1のようにまとめたよ。

花子：容器から減った水の重さが多いほど、水を吸いやすい紙といえるのかな。

太郎：実験で使った紙は、面積も重さもそろっていないから、水の吸いやすさを比べるにはどちらか一方を基準にしたほうがいいよね。

花子：紙の面積と紙の重さのどちらを基準にしても、水の吸いやすさについて、比べることができるね。

表1 実験1の結果

	和紙	プリント用の紙	新聞紙	工作用紙
紙の面積 (cm ²)	40	80	200	50
紙の重さ (g)	0.2	0.5	0.8	1.6
減った水の重さ (g)	0.8	0.7	2.1	2

〔問題1〕 和紙の水の吸いやすさについて、あなたが比べたい紙をプリント用の紙、新聞紙、工作用紙のうちから一つ選びなさい。さらに、紙の面積と紙の重さのどちらを基準にするかを書き、あなたが比べたい紙に対して、和紙は水を何倍吸うかを表1から求め、小数で答えなさい。ただし、答えが割りきれない場合、答えは小数第二位を四捨五入して小数第一位までの数で表すこととする。

花子：紙すき体験では、あみを和紙の原料が入った液に入れて、手であみを前後左右に動かしながら原料をすくったね。

太郎：和紙の原料は、コウゾやミツマタなどの植物のせんいだったよ。

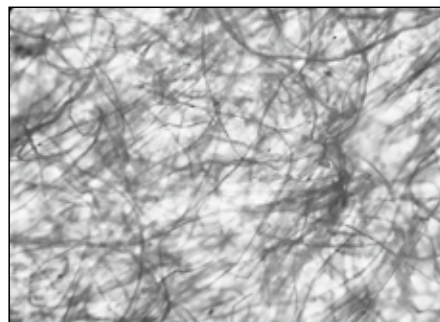
花子：図1を見ると、和紙は、せんいの向きがあまりそろっていないことが分かるね。

太郎：ふだん使っている紙は、和紙とどのようにちがうのですか。

先生：学校でふだん使っている紙の主な原料は、和紙とは別の植物のせんいです。また、機械を使って、あみを同じ向きに動かし、そこに原料をふきつけて紙を作っています。だから、和紙と比べると、より多くのせんいの向きがそろっています。

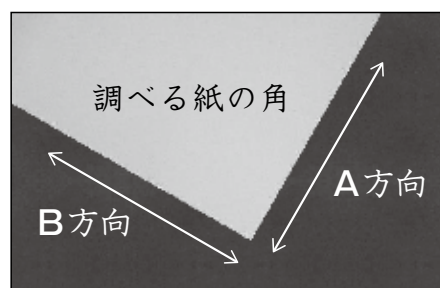
花子：ふだん使っている紙のせんいの向きを調べてみたいです。

図1 和紙のせんいの拡大写真



先生は、プリント用の紙、新聞紙、工作用紙のそれぞれについて、一つの角を選び、A方向・B方向と名前をつけて、図2のように示しました。

図2 方向の名前のつけ方



太郎：それぞれの紙について、せんいの向きがA方向とB方向のどちらなのかを調べるには、どのような実験をしたらよいですか。

先生：実験2と実験3があります。実験2は、紙の一方の面だけを水にぬらした時の紙の曲がり方を調べます。ぬらした時に曲がらない紙もありますが、曲がる紙については、曲がらない方向がせんいの向きです。

花子：それぞれの紙について、先生が選んだ一つの角を使って同じ大きさの正方形に切り取り、実験2をやってみます。

実験2の結果は、図3のようになりました。

図3 実験2の結果

プリント用の紙	新聞紙	工作用紙

花子：実験3はどのようなものですか。

先生：短冊^{たんざく}の形に切った紙の垂れ下がり方のちがいを調べます。紙には、せんいの向きに沿って長く切られた短冊の方が垂れ下がりにくくなる性質がありますが、ちがいが分からない紙もあります。

太郎：短冊は、同じ大きさにそろえた方がいいよね。

花子：A方向とB方向は、紙を裏返さずに図2で示された方向と同じにしないとイケないね。

二人は、図2で先生が方向を示した紙について、図4のようにA方向に長い短冊Aと、B方向に長い短冊Bを切り取りました。そして、それぞれの紙について実験3を行いました。その結果は、図5のようになりました。

図4 短冊^{たんざく}の切り取り方

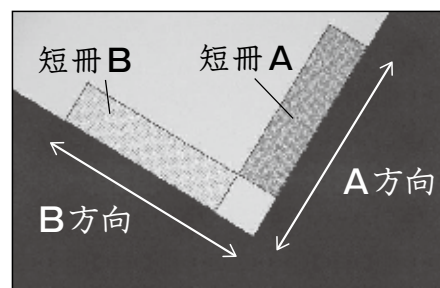
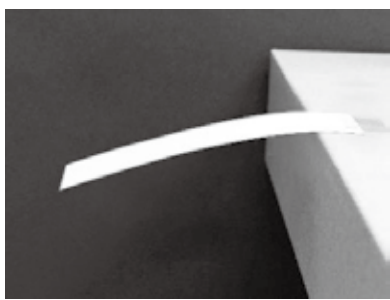

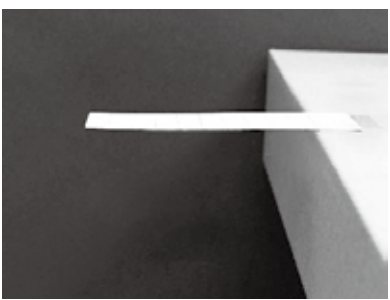
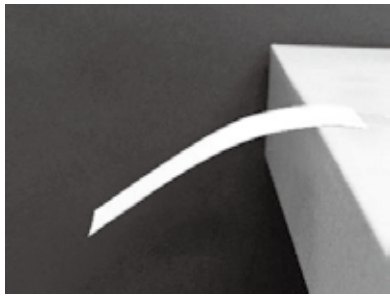
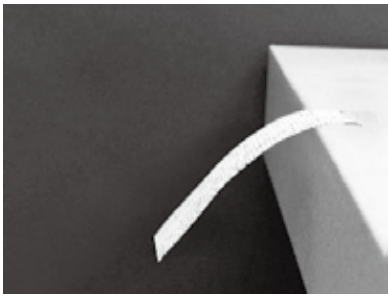
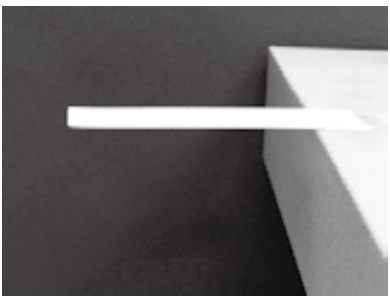


図5 実験3の結果

	プリント用の紙	新聞紙	工作用紙
短冊A			
短冊B			

太郎：実験2と実験3の結果を合わせれば、プリント用の紙、新聞紙、工作用紙のせんいの向きが分かりそうですね。

〔問題2〕 プリント用の紙、新聞紙、工作用紙のうちから一つ選び、選んだ紙のせんいの向きは、図2で示されたA方向とB方向のどちらなのか答えなさい。また、そのように答えた理由を実験2の結果と実験3の結果にそれぞれふれて説明しなさい。

太郎：私たちが校外学習ですいた和紙を画用紙にはって、ろう下のかべに展示しようよ。

先生：昔から使われているのりと同じようなのりを使うといいですよ。

花子：どのようなのりを使っていたのですか。

先生：でんぷんの粉と水で作られたのりです。それをはけでぬって使っていました。次のような手順でのりを作ることができます。

〔のりの作り方〕

- 1 紙コップに2gのでんぷんの粉を入れ、水を加える。
- 2 割りばしでよく混ぜて、紙コップを電子レンジに入れて20秒間加熱する。
- 3 電子レンジの中から紙コップを取り出す。
- 4 ふっとうするまで2と3をくり返し、3のときにふっとうしていたら、冷ます。

太郎：加える水の重さは決まっていないのですか。

先生：加える水の重さによって、紙をはりつけたときのはがれにくさが変わります。

花子：なるべく紙がはがれにくくなるのりを作るために加える水の重さを調べたいです。

先生：そのためには、加える水の重さを変えてできたのりを使って、**実験4**を行うといいです。

太郎：どのような実験ですか。

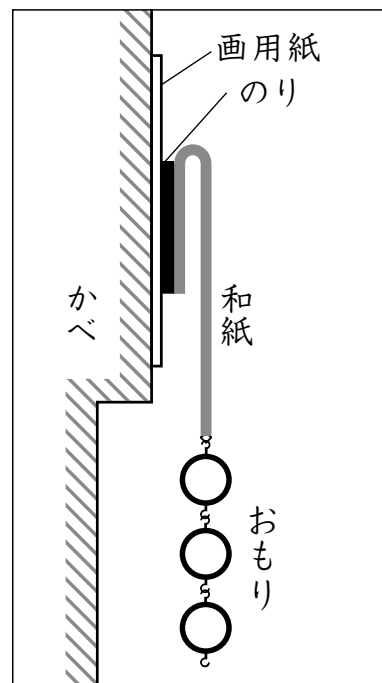
先生：**実験4**は、和紙をのりで画用紙にはってから1日おいた後、**図6**のようにつけたおもりの数を調べる実験です。同じ重さのおもりを一つずつ増やし、和紙が画用紙からはがれたときのおもりの数を記録します。

花子：おもりの数が多いほど、はがれにくいということですね。

先生：その通りです。ここに実験をするためのでんぷんの粉が5回分ありますよ。はけでぬるためには、加える水の重さは1回あたり50g以上は必要です。また、紙コップからふきこぼれないように、150g以下にしておきましょう。

太郎：のりしろは5回とも同じがいいですね。

図6 実験4のようす
(横からの図)



二人は、1回めとして、加える水の重さを50gにしてできたのりを使って、**実験4**を行いました。そして、2回めと3回めとして、加える水の重さをそれぞれ60gと70gにしてできたのりを使って、**実験4**を行いました。その結果は、**表2**のようになりました。

表2 1回めから3回めまでの**実験4**の結果

	1回め	2回め	3回め
加える水の重さ (g)	50	60	70
おもりの数 (個)	44	46	53

花子：さらに加える水を増やしたら、どうなるのかな。たくさん実験したいけれども、でんぶの粉はあと2回分しか残っていないよ。

先生：では、あと2回の実験で、なるべく紙がはがれにくくなるのりを作るために加える水の重さを何gにすればよいか調べてみましょう。のりを作る手順は今までと同じにして、4回めと5回めの**実験4**の計画を立ててみてください。

太郎：では、4回めは、加える水の重さを100gにしてやってみようよ。

花子：5回めは、加える水の重さを何gにしたらいいかな。

太郎：それは、4回めの結果をふまえて考える必要があると思うよ。

花子：なるほど。4回めで、もし、おもりの数が だとすると、次の5回めは、加える水の重さを にするといいね。

先生：なるべく紙がはがれにくくなるのりを作るために、見通しをもった実験の計画を立てることが大切です。

〔問題3〕 (1) 5回めの**実験4**に使うのりを作るときに加える水の重さを考えます。あなたの考えにもっとも近い と の組み合わせを、次のA～Dのうちから一つ選び、記号で書きなさい。

A (あ) 35個 (い) 80g

B (あ) 45個 (い) 110g

C (あ) 60個 (い) 90g

D (あ) 70個 (い) 130g

(2) あなたが(1)で選んだ組み合わせで実験を行うと、なぜ、なるべく紙がはがれにくくなるのりを作るために加える水の重さを調べることができるのですか。3回めの**実験4**の結果と関連付けて、理由を説明しなさい。